

◎佐伯地域の水道の自己水源を廃止し、水源を県用水（弥栄ダムなど）に変更することについて

(佐伯地域のみ)

賛成	6. 4%
どちらかという賛成	7. 6%
どちらかという反対	13. 4%
反対	25. 5%
分からない	47. 1%

- 以前、自己水源として井戸を掘った。現在それを使用しているはず。事業の検証を行うべき。
- 旧佐伯町の水資源の廃止が心配でなりません。水は生活、生きていくうえで最も重要です。「質の良い水」を手放してはなりません。
- せつかくの良い資源を使用すべき。ライフラインの集中化は、災害時に危険。
- なぜ変更なのか理由を知りたい。説明なしにすすめないでほしい。

コロナ対策や地域要求実現に取り組みました



コロナ対策を松本市長に申し入れ

9月2日、大畑市議は、松本市長にコロナ感染対策について申し入れを行いました。申し入れの内容は、「医療機関への財政支援を」「人との接触が避けられない職場の関係者や妊婦などへ、行政の責任でPCR検査を」などです。9月議会でも、PCR検査拡充についてとりあげました。(詳細は右記QRコード)



アンケートに寄せられた地域要求を現地調査

アンケートには、道路整備・改善、カーブミラー設置、通学路改善、信号機設置など様々な地域要求が寄せられました。大畑美紀市議と植木京子元市議は、地元支部と協力して現地調査と地域の人への聞き取りを行うなど要求実現に取り組んでいます。この間、道路の陥没補修、道路の白線修復などが実現しました。

3. 国政へのご意見

コロナ感染拡大の影響を反映して、医療・福祉の充実、年金・低所得者対策など安心して暮らせる施策の充実を望む声が多く寄せられました。また、迷走するコロナ対策や「桜を見る会」疑惑、河井疑惑、学術会議への介入問題などで、自民党政対する批判の声も多数寄せられました。

政治を変えるため、野党共闘への期待も寄せられました。日本共産党は、市民と野党の共闘に取り組み、総選挙で政権交代を実現するため全力でがんばります。

- コロナ対策、PCR検査の無料化を実施してほしい。
- 医療・福祉に力を入れてほしい。将来、年金だけで暮らしていけるようにしてほしい。

- 森友、桜を見る会などのうやむやな答弁は許されない。野党はもっと真実を明らかにするようがんばってほしい。
- 菅政権になって、学術会議への人事介入問題での強権政治が怖いと思います。しっかり監視してください。
- 河井夫妻やその金を受け取った政治家は二度とでてほしくない。
- 今、苦境に立たされている方々の支援に取り組んでほしい。首相は、国民が安心できるような発言をしてほしい。
- 貧しい人がたくさんいます。コロナ対策の結果増税になるのではと不安です。消費税を5%に戻してほしい。
- 正規に比べると、非正規の手取りは本当に少ない。最低賃金を引き上げてほしい。



「5つの改革」で希望のもてる新しい日本へ

- 1 格差ただし、家計第一の政治に
- 2 憲法まもり、立憲主義をとりもどす
- 3 いいなり外交やめ、自主・自立の平和外交へ
- 4 グリーン・リカバリー——自然との共生を
- 5 ジェンダー平等を実現、個人尊重の政治に

新はつかいち (佐伯地域版)

発行
日本共産党西部地区委員会
廿日市市宮内 4282-1
TEL0829(37)0171
jcphw@hi.enjoy.ne.jp
2021年1月号外

日本共産党廿日市市委員会の見解を紹介いたします。ご意見をお寄せください。

廿日市市民アンケート結果報告

昨年9月から、日本共産党廿日市市委員会が取り組んだ市民アンケートに830人(12月31日時点)の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。集計結果を報告します。市民のみなさんから寄せられた貴重なご意見・ご要望を今後の活動に生かしていきます。



廿日市市議会議員
大畑 美紀

日本共産党廿日市市委員会

1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

◎あなたやあなたの家族の生活への影響は

影響がある	57. 3%
これから影響がある	17. 6%
影響はない	25. 1%

◎現役世代(60歳以下)の収入の変化

増えた	1. 3%
減った	45. 0%
変わらない	53. 7%

◎収入の変化の理由(複数回答)

働く時間が増えた	8
働く時間が減った	111
売上が増えた	2
売上が減った	81
テレワーク・在宅勤務	18
学校休校の影響	20
自粛要請の影響	38
解雇	11
自宅待機	26
その他	30

新型コロナウイルス感染拡大がひろがるなか、市民にもその影響がひろがっています。感染拡大の「影響がある」と答えた人は57.3%、「これから影響がある」と答えた人は17.6%。収入への影響は、現役世代で46%の人が減ったと答えています。収入減の理由は、働く時間の減少、売上減などです。また、健康への不安、家族・友人との交流ができない悩み、将来への不安などの声も寄せられました。

●残業代が支払われなくなり、収入が大きく減った。生活も辛いくらいギリギリで、どうすればいいか途方にくれています。

●これから仕事がどの程度あるか心配

●大学生の息子は、半年以上リモート授業でほとんど学校に行っていないのに、授業料は満額支払った。

●コロナの影響で、子どもが保育園に行けなくなると、働くことができなくなり不安です。

●子どもや親せきが他県にいるが、会うことができない。

●各種の行事や会合が中止になり、人との交わりが少なくなった。家にずっといるとストレスがたまる。

●高齢なので、感染することへの不安がある。

◎コロナ対策で国や市への要望

記述式の質問に、多様な意見が寄せられました。要望で

最も多かったのは、PCR検査の拡充でした。つづいて、収入が減った人への給付金・減税などの生活支援、ワクチンや特效薬の開発と接種、正確で迅速な情報の発信、医療・介護体制の充実となりました。

- 希望すればPCR検査を簡単に受けられるようにしてほしい。
- 収入や売上が減っている人、生活が困窮している人への給付金など、一度でない支援の継続を。
- 消費税・市民税などの減税、国保税や公共料金の負担軽減で生活支援の充実。
- 医療の最前線でがんばっている人たちに金銭面で報いること。医療機関への支援を手厚くしてほしい。
- 感染状況や予防対策、感染した時の対処の仕方など、正確な情報の発信を求める。

◎**コロナ後の社会・政治はどうあるべきだと考えますか？**
多くの市民の方が、新型コロナ危機から、これまでの社会や経済、政治について、真剣に学び、考え、今後のあり方を模索していることがよくわかりました。「感染前の社会に戻ってほしい」という声とともに、「よりよい社会や経済にすべき」「お互いを思いやれる人間関係」など、新しい社会や人間関係のあり方を求める声もたくさんありました。

- スピード・効率ばかりが優先される社会から、ひとりひとりが大切にされ、安心して生活できる社会になってほしい。人間らしい生き方ができるような政治になってほしい。
- 命を最優先に考え、お互いを思いやれる人間関係を改めて見つめなおしたい。情報に流されず、考えをキチンと持って、従うだけのあり方を脱却することが大事だと思う。
- 多様な価値観が受け入れられ、人権・自由・幸福を追求する権利が守られる社会を望む。分断ではなく、これまで以上に連帯を大切にする日本をめざしたい。
- 拡大路線・グローバル化など、これまでの考え方に問題があったことを認め、持続可能で地球に負担をかけない経済や生活のあり方を追求する。

2. 廿日市市政について

◎**市に一番力を入れてほしい事は？**

記述式の回答でしたが、一番多かったのは、福祉・介護の充実でした。つづいて、保育・教育などの子育て支援の充実、給付金・減税など市民生活支援、コロナ対策、地域活性化でした。背景には、コロナ感染拡大から市民の命と暮らしを守る施策を求める強い願いがありました。

- PCR検査をどこでも受けられるようにしてほしい。健康診断など、病気を未然に防ぐことに力を入れてほしい。
- 医療体制の充実。医療・福祉現場で働く人たちへの精神的・経済的な援助をつよめてほしい。
- 福祉政策を充実させ、他地区から移住したくなるような地域をつくる。若い人たちが住みたくなるようなまちづくりを・・・。
- 子どもたちが夢と希望をもって生きていける世の中であってほしい。幼児、学童、学生が安心して教育を受けられるように、教員数、給食、医療、財政などを考えてほしい。
- 老後を安心して暮らせるようにしてほしい。
- 収入が減った人、シングルマザーなど経済的弱者への支援をお願いします。

◎**合併について【廿日市市全体】**

よかった	16.7%
どちらかというよかった	35.8%
どちらかというよくなかった	19.4%
よくなかった	10.7%
その他	17.4%

【**旧廿日市市を除く地域**】

よかった	9.7%
どちらかというよかった	29.5%
どちらかというよくなかった	25.6%
よくなかった	19.8%
その他	16.5%

合併について、旧廿日市市地域とその他の地域で合併の評価に違いが見られました。旧廿日市市以外の地域では、合併にともなう問題が広がり、農林業の振興、地域活性化、人口減、交通手段などの課題が明らかになっています。今後のまちづくりをどうすすめるか、合併の検証をふまえた施策が求められています。

- 市域が広くなりすぎ、周辺部に行政の目が届きにくくなった。市民の声も届きにくくなった。
- 過疎化がすすみ住みにくくなった。医療・行政サービスの格差がひろがった。
- 合併前の地域ごとの公平、バランスのとれた予算配分。
- 自分が生まれ育った町・村は大切なものです。それがなくなったのは悲しいことです。

個別施策について

◎**地域経済の発展に何が必要か（複数回答）**

開発による企業誘致	12.6%
インバウンドによる観光振興	11.8%
地元中小企業支援	35.9%
介護・福祉の充実	36.5%
農林漁業の振興	20.5%
公契約条例制定	2.2%
青年の起業・就農支援	22.6%
地域の魅力を生かした産業	30.7%
その他	7.9%

◎**地域環境・地球環境を守るために（複数回答）**

自然と調和した地域づくり	39.1%
ごみの再資源化	32.7%
再生可能エネルギーの普及	31.8%
市民による環境学習	15.4%
地産地消経済の推進	28.2%
プラスチックの削減	32.0%
原発ゼロ社会の実現	31.6%
その他	7.2%

◎**平良・佐方の山林を開発する「新機能都市開発計画」について**

賛成	10.3%
どちらかという賛成	12.6%
どちらかという反対	16.1%
反対	25.9%
わからない	29.3%
その他	5.8%

◎**医療・福祉・介護の充実について（複数回答）**

新型コロナ対策の充実	29.4%
小児科救急	18.6%
産婦人科	14.0%
年金で入れる介護施設	51.9%
吉和・宮島の診療所の充実	10.7%
障がい者福祉施設	13.5%
低所得者への支援	29.0%

◎**教育の充実について（複数回答）**

少人数学級の実現	19.5%
子どもの実態に応じた柔軟な教育	42.6%
教員の大幅増員	16.0%

- ◎**子ども医療費無料化について（記述式）**
 - 無料化拡充はたいへんありがたい。誰もが望んでいると思う。
 - どの子も躊躇なく医療を受けられることはとても大事。本当は大人もそうであってほしい。

- 子どもが小さいとき、余裕がありませんでしたが色々な制度で助けられました。
- 子どもは宝、健全に育てるために力を入れてほしい。中3まで無料化できるようお願いします。

◎**保育園民営化について**

賛成	12.6%
どちらかという賛成	18.9%
どちらかという反対	17.2%
反対	17.2%
わからない	30.4%
その他	3.7%

◎**公共料金で負担に感じるもの**

国民健康保険税	29.4%
教育費	5.9%
3才未満の保育料	4.9%
通学費	2.9%
上下水道料	23.1%
介護保険料	35.3%
後期高齢者医療保険料	21.1%
給食費	2.7%
医療費窓口負担	13.6%

- ◎**家庭ごみ有料化について（記述式）**
 - 有料化した効果について説明してほしい。本当にごみは減ったのか？増えた収入の収支は？
 - 高いと思うが、分別してごみを少なくするよう心がけるようになった。
 - 袋の値段が高すぎて生活が苦しい。低所得者支援を考えてほしい。
 - 意識が高まるのでよかったと思う。仕方ない。

◎**宮島入島税（訪問税）について**

賛成	31.0%
どちらかという賛成	25.4%
どちらかという反対	14.8%
反対	14.2%
わからない	12.0%
その他	2.6%

- ◎**地域交通についての要望（記述式）**
 - バスの運行が変わって不便になった。便数を増やしてほしい。
 - 高齢者にバス、電車、タクシーの無料券を支給してほしい。
 - 過疎化がすすむなかで高齢化により免許を返納した。地域への小型バスを充実してほしい。
 - ワンコインで（佐伯から）廿日市にいけるようにしてほしい。